

# with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウイズ・デイグニティ]



インタビュー

新学長に就任して  
金城学院大学 学長

**柏木 哲夫**

インタビュー

『プロジェクトK』について  
金城学院大学 教授

**森下 伸也**

◎クローズ・アップ  
金城学院大学 助教授  
**片瀬 眞由美**  
金城学院中学校 教諭  
**山本 秀樹**

◎金城学院ホット・ニュース  
金城学院大学  
金城学院高等学校  
金城学院中学校  
金城学院幼稚園

◎エクステンションの紹介

◎金城学院トピックス



学校法人 金城学院  
発行者 / 金城学院報編集委員会  
金城学院報通巻第73号  
発行 / 平成16年6月25日  
名古屋市守山区大森二丁目1723番地  
TEL.052-798-0180

# INTERVIEW

◎インタビュー／新学長に就任して

「金城学院大学に理系の学部を」という長年の念願が薬学部新設という形で実現し、文系、理系の両方を持つバランスのとれた大学として、今大きく飛躍しようとしています。2004年4月を期して体制も新たになり、新学長が誕生しました。就任間もない柏木新学長にお話を伺いました。

## 金城学院大学のすべての学生、すべての教職員の幸せのために学長としての使命を果たします。

金城学院大学 柏木哲夫 学長

### プロフィール

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、心身医学の臨床と研究に従事。その後3年間、ワシントン大学に留学し、アメリカ精神医学の研修を積む。1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。同時にターミナル（末期）ケア実践のためのチームを結成。その後、同病院にて内科医としての研修を受け、1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任。2003年金城学院大学人間科学部教授、2004年金城学院大学学長に就任。1994年日米医学功労賞、1998年朝日社会福祉賞受賞。

### 医療人としての道のり、キリスト教徒としての歩み

私は、3歳の時に父親を亡くしまして、母一人子一人で育ちました。母が看護師をしておりましたので、小学生の頃は病院が遊び場で白衣や聴診器、クレゾールの匂いなどがいつも身近にありました。その影響なのか、小学校高学年の時にはもう、医者になる決意を固めていました。その後大阪大学の医学部に入学し、内科医や小児科医を専攻するつもりで勉強していたのですが、精神医学の分野を知り、その中でも特に心身医学の研究と臨床に非常に興味を持ちました。

その時期に平行して、キリスト教との出会いがありました。大学1年の時、友人の誘いにより教会へ出かけたのですが、そこでフリーゼン宣教師がたどたどしい日本語で一生懸命話しておられる姿に感動するとともに、これほど彼を熱心にさせるものは一体何であろうという好奇心が沸きました。私はけっこう頑固者なので、5年間ほど通ってようやく神の存在を認める気持ちになり、1964年に洗礼を受けました。

翌年に医学部を卒業し、精神科に勤め始めていたのですが、心の病気は考え方だとか、文化、国



によって全然違うものだと思うようになり、3年間ワシントン大学に留学しました。ここで私の一生を決める経験をするようになったのです。

それは、アメリカで始まりかけていた末期患者へのチームアプローチでした。余命1カ月の患者に、医師、看護師、ソーシャルワーカー、宗教家、栄養士、薬剤師が集まり、どのようにケアを行うかを真剣に話し合う姿を見て、当時の私はまさに目からうろこの状態で帰国しました。

帰国後、淀川キリスト教病院の精神神経科に勤めたのですが、外科の医師から「末期のがん患者から死の不安を訴えられたが、どう対応していいのかわからない。」と相談されました。患者さん

に会ったところ、体の痛みのほか、家族への思いや自身への罪責感や疎外感、死後の恐怖などの痛みを訴えられ、これはチームで支えていくしかないと決意し、1973年、日本でのホスピスのスタートとなりました。

教育者の道を決断し、  
そして金城学院大学学長として

ホスピス医として10年経ったときに、大阪大学からホスピスで得た経験を教育に活かしてほしいという要請を受けました。ホスピスで骨を埋めるつもりだったので大いに悩みました。

当時、死というものは100%訪れるにもかかわらず、研究はほとんど手付かずの状態でした。私はホスピスで今までに2,500人ぐらいの方を看取りましたけれども、死というものを考えたことのない人が死に至る病になった場合、非常に受容が困難になることが多く、また日常生活から死が遠くになってしまった現在、学生さんには死というものをしっかり学んで欲しいと思い、決断しました。

その後、金城学院大学に招かれることになったのですが、ここの学生さんは皆明るく元気でいいですね。私は学生も教職員もハッピーであってほしいと心から願っています。私自身が幸せを感じる時は、ゼミの学生さんと勉強をしている時、患者さんを診察している時、川柳が新聞に掲載された時でしょうか。ホスピスの仕事は本当に重い仕事で、どこかで心を軽くしておかないと続けられない仕事です。川柳は自分の心の健康状態を保つ

ために、12、3年前から始めました。「茨木 ほのぼの」という柳名で新聞に投稿していて、これまでに32、3回は掲載されています。これからも人々の心をほのぼのとさせるような川柳を作っていきたいと思っています。

仲柳 流 万 能 川 柳 ◎田は秀造(仲柳流本選)

① 命をいかに大切にしようか  
 ② 命をいかに大切にしようか  
 ③ 命をいかに大切にしようか  
 ④ 命をいかに大切にしようか  
 ⑤ 命をいかに大切にしようか  
 ⑥ 命をいかに大切にしようか  
 ⑦ 命をいかに大切にしようか  
 ⑧ 命をいかに大切にしようか  
 ⑨ 命をいかに大切にしようか  
 ⑩ 命をいかに大切にしようか  
 ⑪ 命をいかに大切にしようか  
 ⑫ 命をいかに大切にしようか  
 ⑬ 命をいかに大切にしようか  
 ⑭ 命をいかに大切にしようか  
 ⑮ 命をいかに大切にしようか  
 ⑯ 命をいかに大切にしようか  
 ⑰ 命をいかに大切にしようか  
 ⑱ 命をいかに大切にしようか  
 ⑲ 命をいかに大切にしようか  
 ⑳ 命をいかに大切にしようか  
 ㉑ 命をいかに大切にしようか  
 ㉒ 命をいかに大切にしようか  
 ㉓ 命をいかに大切にしようか  
 ㉔ 命をいかに大切にしようか  
 ㉕ 命をいかに大切にしようか  
 ㉖ 命をいかに大切にしようか  
 ㉗ 命をいかに大切にしようか  
 ㉘ 命をいかに大切にしようか  
 ㉙ 命をいかに大切にしようか  
 ㉚ 命をいかに大切にしようか  
 ㉛ 命をいかに大切にしようか  
 ㉜ 命をいかに大切にしようか  
 ㉝ 命をいかに大切にしようか  
 ㉞ 命をいかに大切にしようか  
 ㉟ 命をいかに大切にしようか  
 ㊱ 命をいかに大切にしようか  
 ㊲ 命をいかに大切にしようか  
 ㊳ 命をいかに大切にしようか  
 ㊴ 命をいかに大切にしようか  
 ㊵ 命をいかに大切にしようか  
 ㊶ 命をいかに大切にしようか  
 ㊷ 命をいかに大切にしようか  
 ㊸ 命をいかに大切にしようか  
 ㊹ 命をいかに大切にしようか  
 ㊺ 命をいかに大切にしようか

4月19日 毎日新聞朝刊に掲載

学生に望む「3つのすすめ」

学生さんにめざしてほしいことが3つあります。第1は学生時代に是非使命を発見してほしいということです。作家の三浦綾子さんがテレビで話を

しておられた時に、「私は小説を書くことが私の使命だと思っています。使命というのは『命を使う』と書くでしょう。」と言われたのです。そして「1冊小説を書き上げると、私はくたくたに疲れます。そして本当に命を使ったなと思うのです。しかし、私は死ぬまで小説を書き続けたいと思っています。それが私の使命ですから。」と言われました。使命というのは何も大きな使命でなくてもいいわけですが、例えば子どもを育てることも立派な使命です。1つの分野で活躍し、極めるという使命ではなくても、一人ひとりに与えられている使命をしっかりと自覚して、それを果たしながら生き切るということができれば非常に素晴らしいと思うのです。



第2は品格のある女性になってほしいということです。品格は内面からにじみ出てくるものであり、自己中心性からの開放でもあります。そこから現われる話し方や態度は教育を受けた大学によって、かなり違います。学生がモデルにするひとつとして、教員の生き様があります。これは教員への望みでもありますが、品格教育は行っていきなさいと思っています。

第3はふたつの自立・自律です。経済的、精神的に親から自立した生活を営むようにするとともに、人間関係の中で自分というものを見つめ、全体の和を大切にしながら自分の立場を主張できるようにならなければなりません。それには、個の確立がなければ不可能です。4年間で「3つのすすめ」をめざし、人生の幸せを手に入れて欲しいと願ってやみません。

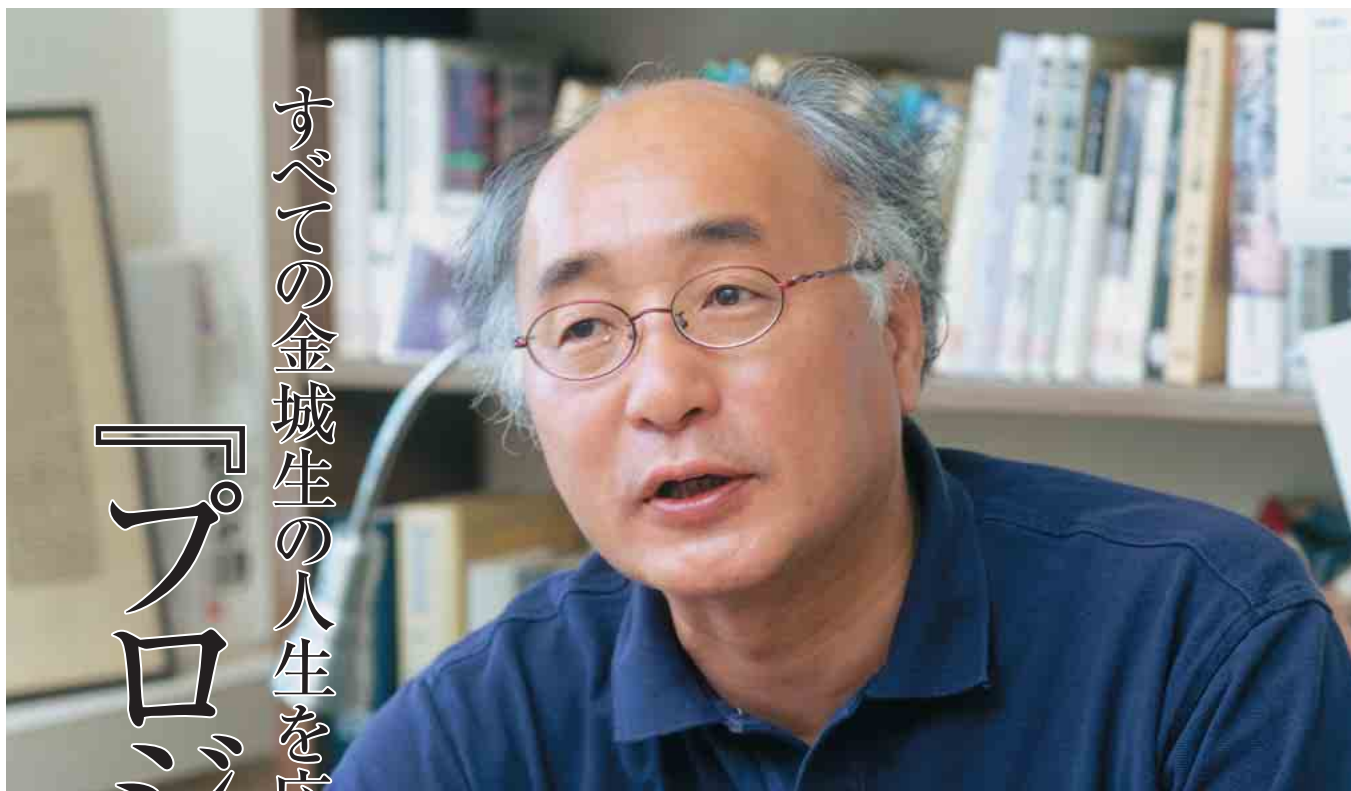


1996年以來、8年間にわたって金城学院大学学長を務められた戸田安士先生が、2004年4月、学校法人金城学院の理事長に就任されました。その後任として柏木哲夫先生が学長に就任。新体制が整い、これまで以上にポジティブな運営が始まろうとしています。

学校法人金城学院 戸田安士 新理事長

# INTERVIEW

◎インタビュー／『プロジェクトK』について



すべての金城生の人生を応援するために

## 『プロジェクトK』始動

金城学院大学 人間科学部 心理学科 社会心理学専攻 森下伸也 教授

2004年4月から、金城学院大学では『プロジェクトK』が始まりました。『プロジェクトK』の“K”は金城学院の略で、いろいろな教育プログラムを新たに立ち上げていくプロジェクトのことです。プロジェクトK委員会の委員長である森下伸也教授に、どのような内容のものかを詳しくお伺いしました。

### 大学は学生たちの応援をするところ

プロジェクトK委員会は2003年6月に大学学生生活委員会の下部組織である、キャリア形成支援プロジェクト委員会として発足し、その後覚えやすくインパクトのある『プロジェクトK』に名称を変更。今年の4月から1年生を対象に実施の運びとなりました。メンバーは、袖山紘教務部長、現代文化学部 館輝和教授、人間科学部の宗方比佐子教授、戸田保学生支援部部長、安藤剛学生支援部課長、私の6名。全員が前向きで非常に熱心な委員であり、『プロジェクトK』の教員向け説明会までに、20回以上の会議を重ねました。

そもそものきっかけは、ゼミの学生たちが就職活動で悪戦苦闘をしている姿を見たことによります。就職活動は3年次の秋に本格化しますが、それから対応しても手遅れであることが多く、彼女たちが自分の望む将来へ進むことのできる

力を身に付けるためには、1年次から教育を始めなければならないと考えたことが第一歩でした。本学では、大学は学生たちの応援をするところ、卒業後の人生の土台をつくることだと考えています。自分の人生を自分の力で切り開いていく意欲・実力・自信が、卒業の段階ですべての学生に十分に備わっていることこそ、本学の教育目標です。それを効果的に達成していくために生まれたプログラムが『プロジェクトK』なのです。

### 『プロジェクトK』の基本的な考え方は、3つ

第1は、1・2年次の教育・指導が学生の将来にとって極めて重要であるということです。学生が自分の人生設計、職業、就職について早い段階から考えるようになるためには、入学時点から自覚を促す機会をできるだけ多く設ける必要があります。第2は、当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前（あたりまえ）にできる大人になってもらうことです。そのための主要なスキルとして、私たちは日本語表現力（特に話す力と作文力）、マナー（あいさつ、言葉使いなど）、社会的積極性（特に物事の段取り、仕切りの能力）を重視しています。第3は、教員の意識改革です。

大学に入学したばかりなのに、なぜ卒業後のことをすぐ考えなくてはならないのかと疑問に思うかもしれません。しかし、大学時代をいかに有効に活用するかということが、卒業後の人生を大きく左右します。後になって後悔しないためにも、『プロジェクトK』のような人生応援プログラムを大いに活用してもらいたいと思っています。

### 『プロジェクトK』7つの提案

委員会からは7つの提案をしました。①教育効果に関する数値目標の設定は、学科ごとに目標を設定し、卒業時点でどんな資格が取れたか、どういうところに就職できたか、どういう試験に受かったかなどの効果を測定し、検証を毎年行っていくものです。②個別指導の充実は、パソコンツーパーソン方式で学生を指導していこうというものです。各学科でアドバイザー制度やチューター制度を導入したり、従来の担任制度の機能を強化したり、ゼミを活かして行った

りと多彩で密度の濃い内容になっています。委員会としてもマニュアルを作ってバックアップしていきます。③キャリア開発教育科目は、本格導入が来年度からになりますが、学生が1年次から仕事や人生について考えていくことができるように必修科目として開設します。本年度はその前段階として、従来の科目の中に組み込んで開講しています。④自己啓発をしていくためのツール開発では、Kノート、Kウェブ、マナービデオの3種類を開発し、1年生全員に配



[ Kウェブ ]  
<http://stud-support.kinjo-u.ac.jp/kweb/>



[ 職業データベースの世界へようこそ ]  
<http://db.jil.go.jp/welcome>

布しました。Kノートは自己啓発のための内容が詰まった本学オリジナルノートで、年次ごとに内容が増えていくファイル形式です。またKウェブでは、いつでもキャリアアセスメント（職業診断検査）を受けることができます。マナービデオの第1弾は『大学生のマナー 基礎編』でしたが、公衆道德編、インターンシップ編と続編もつくる予定です。⑤キャリアアップ講座は、作文・マナーの指導が無料で、できるようになるまで受けられるように充実しました。その他にも⑥1・2年次の就職オリエンテーションの実施、⑦『プロジェクトK』教員向け説明



会の実施があります。これらの7つの提案が有機的に集まってひとつの目的に向かっていくシステムこそが、『プロジェクトK』なのです。



[ マナービデオ ]

今年度は、不足なところや発展させなければならぬところをメンテナンスし

ながら、来年度に向けて土台をつくっていくことが仕事と考えています。

# Close Up



## 家庭を守りながらも 教育と研究に没頭

大学で学んでいた頃は中学校の教員を希望していたのですが、大学の研究室に2年間副手として残ったことで大学教員に目標が変わり、大学院の修士・博士課程に進みました。その後、金城学院に招かれ今年で勤続10年になります。着任当初、主人は鎌倉勤務と離れ離れの生活でしたが、教育や研究に没頭した日々を過ごしました。偶然娘の出産の日に主人の名古屋転勤が決まり、今は親子3人で暮らしています。子育て中の今も、同僚の先生方に助けていただける

金城学院大学生活環境学部  
環境デザイン学科

**片瀬 真由美** 助教授

大妻女子大学家政学研究所  
被服環境学専攻満期単位取得退学  
学術博士  
研究課題 / ユニバーサルファッション論  
靴着用に関する人間工学的研究  
日本とドイツにおける靴文化研究

## 身近な靴が研究テーマ 子どもたちの未来のために 正しい知識を名古屋から発信します。

片瀬先生が足と靴に興味を持つのは、人間が歩き始めたことにロマンを感じるからで二足歩行は人間のルーツ、人が人たる所以である足の研究を極めてみたいのだそうです。先生は一児の母でもあり、家庭と仕事の両立と忙しい毎日をご過ごされていますが、この職業に就けたことに感謝しながら、教育と研究に打ち込んでいらっしゃいます。

という恵まれた環境に感謝しつつ、仕事を続けています。

私の専門は被服分野の中の既製服サイズと体型の研究です。例えばサイズが同じ人でも薄っぺらい体型、厚みや凹凸のある体型と体にはさまざまな形があります。しかし現在の既製服には残念ながら体型情報はほとんど反映されておらず、実際の人体の形と必ずしも適合していません。この不適合の問題を発展させ、現在は足と靴の適合性に関する研究に力を注いでいます。

### 幼少時から靴が大好き 第一歩はミュールの研究

私は幼稚園のころから靴が大好きで、デパートに行くとき靴売り場から離れなかったり、思春期になると、服より靴を買うことの方が圧倒的に多かったという靴好きです。その後、大学院

で足の研究の第一人者、近藤四郎先生の講義を受ける機会があり、靴の機能性の重要性について興味を抱きました。

今から4～5年前のことですが、厚底靴やミュールが大流行しました。足を痛めても、履きたいと思う若い女性の実態を見ることができず、問題点を明らかにしようと思ったのが靴の研究の始まりです。身近なテーマのせいか学生も積極的に調査に協力してくれましたし、講義も真剣に聞いてくれました。学生は、未来の母親予備軍です。自分自身の足の健康もさることながら、子どもの健康のためにも足と靴についての正しい知識を身に付けて欲しいと思います。

### 子ども靴の研究を ライフワークとしていきたい

日本ではいちいち足のサイズ

を測ってから靴を買う人はほとんどいませんよね。靴の国といわれるドイツでは、サイズを測ることはあたり前。特に子ども靴は機能重視で選びます。かたや日本では、キャラクターものやデザイン重視の子ども靴ばかりです。

今プロジェクトを組んで、日本とドイツの子ども靴の比較の研究を始めています。ドイツの靴と文化に日本が学ぶべきことがあるのではないかと考えたからです。靴は体を支え、人の生活を支える大切な道具です。小さい時に履いた靴が足の健康の一生を左右することもあります。子ども靴の研究は非常に奥が深くやりがいがあります。今後もライフワークとして取り組み、得られた結果を日本の行政や、お母さん達に伝えていきたいと考えています。

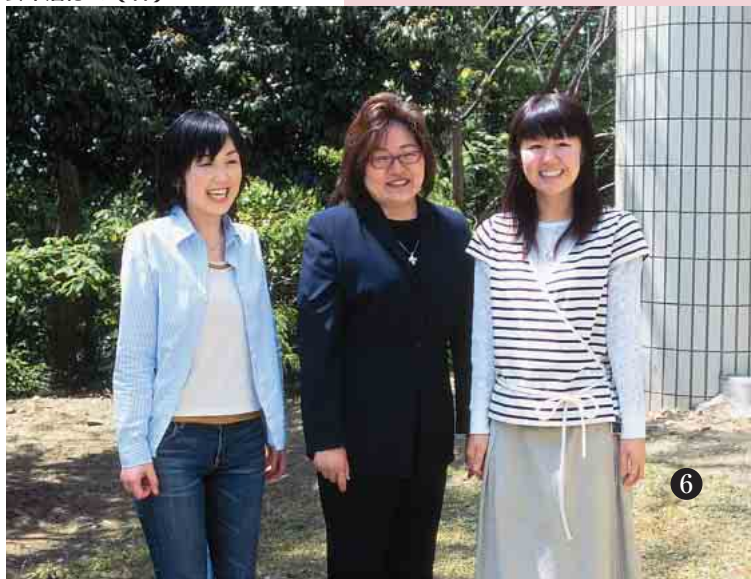
### 片瀬先生はこんな人

いつも笑顔で、とても熱心。尊敬している先生です。

初めての片瀬先生の講義は正直驚きました。袋いっぱい子ども靴を持ってきて、とても熱く子ども靴の置かれている現状

を語られたのです。その熱心さもすごいなと思ったのですが、とてもわかりやすかったのが印象的でした。常に笑顔で聞き上手な片瀬先生は、私たちがうまく自分の思いを表現できなくても、スーッと理解してくださるし、やりたいことを尊重して下さいます。家庭もしっかり守り、ひとつのことを貫いていく魅力的な姿は、同じ女性として尊敬しています。

片瀬先生と4年生の名倉咲江さん(左)と鈴木磨穂さん(右)



# Close Up

## キリスト教との出会いから、 自分自身を考える

高校1年生の時、一度自分を振り返ろうと教会に通いだしたことがキリスト教を知るきっかけでした。今の私にとってキリスト教は、生きる道を示し、自分が何者であるかを気づかせてくれるものです。この学院での

礼拝や宗教行事を通して、また新たに触れるイエス・キリストの生き方には、今だ大きな衝撃と影響を受け続けています。

私は理科を教える一方、「他者との関わり」や「環境問題」をテーマにした体験学習を取り入れた「総合的学習」も担当しています。学年会を中心に行われてきた「自分に気づく」とい

う教育プログラムと合わせると5年前から、子どもたちと一緒に自分探しを行っています。

## 相談活動を通じ、子どもたちの 自分探しをお手伝い

1年間の国内留学でグループワークとカウンセリングを学びました。その経験から、学校と相談して1999年に「相談室」

## ありのままの自分を出せる人格形成、 教育環境をめざします。

山本先生は高校時代、教会に通い浸洗(バプテスマ)を受け、自分らしく素直に生きていくことの大切さに気づかれたそうです。大人の不安を子どもが敏感に感じ、悩みを抱えるようになっている現代では、教師がチームワークを高めて生徒の状況を把握していかなければならないとおっしゃいます。子どもが無理をせず、ありのままの自分を出すにはどうしたらよいか、熱く語っていただきました。

### 金城学院中学校 山本 秀樹 教諭

1952年生  
酪農学園大学卒業  
北陸学院高等学校教諭、金城学院高等学校教諭を経て、現在、金城学院中学校教諭  
日本バプテスト連盟平針キリスト教会員、全国キリスト教学校人権教育研究協議会運営委員、キリスト教学校教育同盟関西地区中高教研委員、子どもの虐待防止ネットワーク・あいち研修企画委員  
著書/「主を畏れる - 資料に見る戦時下の金城学院と基督教」  
キリスト教学校歴史研究会編著  
(2004・キリスト新聞社)





を立ち上げました。悩みを聞いてほしい時に、必ず聞いてもらえる場があれば、生徒が安心できると考えたからです。実際、生徒だけでなく保護者からの相談もあり、接してみると言葉以上にもっと深い悩みがあったりします。相談の内容は友だちとの事や勉強の事とさまざまですが、最も多いのは人間関係の悩みです。家庭が子どもの抱えている不安を支えきれなくなっているケースは少なくありません。それどころか、支えてくれるはずの家庭自体が子どもの不安の原因であったりもするのです。相談室で悩みを誰かに聞いてもらうことによって、結局は自分自身に気づき、ありのままの自分を素敵だと思えるようになってほしいと考えています。そのためには「自

分に正直になる」ことが一番大切で、しかも一番難しいことなのですが、私の場合そのきっかけを与えてくださったのが神様との出会いかもしれません。神様がありのままの自分をそのまま受け入れてくださっているという安心感のようなものを感じています。「自分を大切にすることは、他人も大切にすること」とよくいわれているように、子どもたちには正直な自分と向き合い、自分を大切に思う気持ちをもってもらいたいと願っています。

中学生の時になかなか教室に入れず、相談室に来てたくさん悩みを話していた子どもが、高校に入って楽しい学校生活を送っていたり、相談室に「元気になっています」と会いに来てくれるのが何よりもうれしいことです。

今年から、大学の心理臨床相談室の先生方にも全面協力していただけるようになり、中高大の相談活動が一貫して行えることをとても心強く思っています。また、年々成長し続ける子どもたち一人ひとりの気持ちを理解できるよう、学年会や担任、保健室の先生などさまざまな人や組織が協力してチームワークを高めていく必要があります。

子どもたちの自分探しを手伝うことで、一人でも多くの生徒が、自分の力で人生を切り開いていけるようになることが願いです。そして私たち教師も、チームとしての教育力を高め、学年会を中心とした教育活動を通じ、子どもが無理をせず、ありのままの自分を出せる環境が作れるよう努めていこうと思っています。

### 山本先生はこんな人

生徒のことを第一に考えてくれる先生です。

一見ちょっと頑固そうな先生に見えますが、一回目の理科の授業が「なんでだろう」の歌で始まり、緊張する私たちのことを和ませようと真剣に考えてくださった、やさしい先生です。部活のYWCA（キリスト教女子青年会、顧問：山本）では、ひとつひとつの表現や行動がおもしろく、いつも笑顔で話してくださいます。老人ホームの訪問や赤い羽根募金など、いろいろ

なボランティア活動を行っているので、次はどんな活動をするのか先生とよく話し合っています。

山本先生を囲んで(左から)2年生の北村知佳さん、加藤穂菜美さん、栗本奈旺さん、水谷咲月さん



## 認めてもらえたことが 自信につながりました

大学では、課外活動や成績の優秀な学生を、年に1回ずつ学長より表彰しています。昨年度表彰を受けた卒業生に、大学生生活を振り返っていただきました。

大学の4年間を振り返ると、勉強が半分、クラブ活動が半分だったなと思います。勉強に関しては、最後までやり遂げないと気がすまない性格のためか、取った講義はきちんと出席し、真剣に聞いていました。でも周りの友だちもそうだったので、皆と一緒に講義を受けてただけで自分の中では必死にやったという意識はなく、とても自然な感じで学んでいたと思います。そんな私が、卒業式の総代に選ばれ、学長表彰も受けられるとわかったときは、正直言ってあまり実感はありませんでした。しかし卒業式当日の厳肅な雰囲気は驚き、総代に選ばれた重みを感じました。そして認めてもらえたことが自信につながりました。

実は私、学長表彰があることを知らなかったのですが、自分に自信を持つよい機会になるので、後輩の皆さんには大いに勉強や課外活動に励んでいただきたいと思います。

クラブ活動はハンドベルをしていましたが、これは中学1年の時からずっと続けてきたものです。ハンドベルは16人で1人分のパートを演奏します。そのため、皆が同じイメージを持ち、周りのことを思いやりながら上げていかななくてはなりません。難しいのですが、ピタッと揃った時の達成感は言葉で表せないくらいです。

ハンドベルにはたくさんの思い出があります。私は4年生の時に部長だったこともあり、卒業コンサートは本当に感動しました。4年間の集大成を多くの人に見てもらえたことがうれしく、がんばってきた意義があったと実感することができました。

現在、私は大学院に進学したばかりですが、進学を決めたきっかけは、大学の時に受けたある講義でした。それは、人はどうやって言葉を覚えるのかという内容で、それを聞いて私は、“外国で暮らしていた友だちは、



大学院 文学研究科 英文学専攻  
博士前期課程課程1年 大川由貴子さん

英語も日本語も苦労することなく覚えられた。私は中学校の時から英語が好きなのに、苦労しなくては覚えられない。なぜ？”と考えたのでした。そして日本で楽に英語を獲得できるようになったら、皆もっと英語が好きになるのではないかと、その研究をしてみたいと思ったのです。将来は、このような理論を修得した上で、幼・小学生の英語教育に携わっていきたくて考えています。

### 2003年度 成績優秀者表彰



文学部	日本文化学科	大門 真歩	総合成績優秀により
文学部	英文学科	大川 由貴子	総合成績優秀により
文学部	英文学科	今川 奈美	TOEIC・TOEFL成績優秀により
文学部	英文学科	三浦 綾子	TOEIC成績優秀により
文学部	言語文化学科	波多野 恭子	総合成績優秀により
文学部	言語文化学科	稲葉 有紀	TOEIC成績優秀により
文学部	言語文化学科	江坂 尚子	中国語検定準2級合格により
家政学部	家政学科	石田 純子	総合成績優秀により
家政学部	生活経営学科	松本 有賀里	総合成績優秀により
家政学部	児童学科	早川 晃代	総合成績優秀により
現代文化学部	国際社会学科	河合 智子	総合成績優秀により
現代文化学部	国際社会学科	神谷 友子	中国語検定準2級合格により
現代文化学部	情報文化学科	石川 絵美	総合成績優秀により
現代文化学部	情報文化学科	清村 理恵	CG検定・マルチメディア検定2級合格により
現代文化学部	情報文化学科	粥川 澄恵	CG検定・マルチメディア検定2級合格により
現代文化学部	福祉社会学科	高山 共日	総合成績優秀により

4年間の成績に対する表彰です。卒業式に引き続き表彰式を取り行いました。

「世界とのつながりを感じながら、  
表現力と創造力を養う総合的学習  
国際社会に生きる」



昨年より始まった「総合的な学習の時間」(総合的学習)、今年の2年生のテーマは「国際社会に生きる」です。その特長は子どもの視点から世界を理解することにあります。

最初は、写真を見てストーリー

を作るフォトランゲージを行います。生徒たちはグループごとに海外の写真を見ながら、自由に想像を膨らませ、写っている人の名前や性格、状況などを語り合います。

次に、子どもの権利についての基礎を学習した後、世界各国の子どもの諸問題についてグループごとに調査をした上で討論します。

最終的には、国際会議に出席して意見を述べるという場面を想定し、世界各国の子どもの現状について発表することを目標に学習を進めています。

正解を求める授業ではなく、一人ひとりの意見が重要ですから、生徒たちは積極的に調査・討論しています。普通の授業では消極的

な生徒が総合的学習ではリーダーシップを発揮することもあり、長所を引き出す機会にもなっています。ただし、自由に発想・討論するといっても、

どうしても今までの知識、経験だけでは特定の考えに偏ってしまいがちですので、状況に応じて教員が適切なアドバイスをします。

この総合的学習を通じて、世界には異なった生活習慣や考え方・価値観があることを学び、生徒たちの視野は大きく広がることでしょう。また、世界的な視野を持つことは、将来出会うであろうさまざまな国の人とのコミュニケーションを容易にします。さらに、グループ内で意見をまとめ発表することが、社会で求められる調整能力やプレゼンテーション能力を鍛える訓練にもなり、表現力、想像力の向上につながると大きな手応えを感じています。

社会生活に役立つカリキュラムを編成

外国語の選択授業がスタート

今年度から、2年生コースで、新しく外国語の選択授業が始まりました。

現在英会話が2クラス、中国語が2クラス、フランス語が2クラス、韓国朝鮮語が1クラス開講されています。

高校時代になるべく多くの外国語を学んで欲しいという願いから生まれた科目ですが、それが本当に身につくように、3年生でも同じ言語を履修することになっています。

生徒たちは、喜んで勉強しているようです。(柳田 護)



プレゼンテーションに向けて準備を進める生徒たち

学校設定科目の3科目に取り組む

今年度から地歴・公民科新カリキュラムとして学校設定科目の3科目がスタートしました。「歴史」は人物や出来事についての古文書講読、「国際」は世界の人々との共生のためにはどうすべきかを、「社会問題」は人権についての勉強の切り口として難民問題・死刑問題・生命倫理問題などについて取り組みます。全てレクチャー・テーマ学習・プレゼンテーションという形で2年間授業が進められます。

(長屋頼子)

## 2004年度 金城学院オリエンテーション (今年度よりリニューアルして実施)



オリエンテーションは、これまで「一泊新入生オリエンテーション」として5月に実施されていましたが、中高6年間の一貫教育を鑑みて金城生にふさわしいスタートをしていただきたいと願い、今年度より学校を会場に一日で行うことにしました。

4月6日、全教職員とお手伝いの3年生36名で、370名の新1年生を迎えました。

礼拝で始められたオリエンテーションは、礎となるキリスト教や学院の歴史に触れる形で進められ、

新入生に金城生の一人である自覚を促すものでした。

楽しいホームルームの交わりの後、各クラスが2つに分かれ先生方や3年生と共に食卓を囲み、オリジナルのお弁当をいただきました。

午後は午前中の話をふりかえり、心に残った一言を用紙に書いて張り出すグループの作業をしました。各教室に掲示された言葉はこれまでの金城生が大切にしてきたものが並び、学院の願いが的確に受け止められていました。

礼拝をもって終わられたオリエ

ンテーション。帰路に向かう1年生の後姿には、6年間に亘る学校生活の第一歩を踏み出した力強さを感じられました。





保育が終わった水曜日の午後、幼稚園の遊戯室から、にぎやかな笑い声が聞こえてきます。水曜日は、月に一度、幼稚園のお誕生会が開かれる日です。

去る4月28日、4月生まれの13人の子どもたちとおうちの方、そして幼稚園スタッフ全員が集まりお誕生会を催しました。朝からクラスの先生にお誕生日のリボンをつけてもらった子どもたちの顔はどこか誇らしげで、うれしくて、うれしくて...、つい微笑がこぼれます。子どもたちにとって誕生日は、ひとつ大きくなるうれしい日。そして皆から、えっ！お誕生日なの！？おめでとう！と声をかけてもらえる特別な日。

1. うまれるまえからかみさまに  
まもられてきたともだちのたん  
じょうびです。おめでとう。
2. うまれてきょうまでみんなから  
あいされてきたともだちのたん  
じょうびです。おめでとう。  
『こどもさんびか』



金城学院幼稚園では、“一人ひとりを大切に活かし、その子らしく生きる力を養う。”という保育目標を掲げ、教職員一同、日々保育に力を注いでおります。

そして、子どもたちにとって特別な日である“お誕生会”もまた、子どもたち一人ひとりが神さまから特別に愛され守られているかけがえのない存在であることを伝え、共に祝いするため家庭的なゆったりとした雰囲気の中で毎回趣向を凝らし行っています。

サンドイッチをいただきながら会話を楽しむ会食の後は、ゲームタイムとし、普段幼稚園でしているゲームを親子お誕生会バージョンで楽しみます。ケーキタイムではたくさんのローソクに火を灯したラウンドケーキをみんなで囲みます。

そして、保育者によって語られる聖書のお話に耳を傾け、お待ちかねのプレゼントタイムへと続きます。プレゼント一つ一つは、保育者が心を込めて飾りつけメッセージを書き込んだ額（年長）・ア

ルバム（年中）・写真たて（年少）に一人ひとりのスナップ写真を添えて贈ります。

そして最後に、手を組んで目を閉じて、心をあわせてお祈りし、会を閉じます。

「神さま、子どもたちをこんなに素敵にお育て下さりありがとうございます。そしてまだまだ大きく成長していくこの子どもたちのそばに、そしてご家族の上にも神さまがいてくださいますように、アーメン。」

親子のスキンシップを楽しみ  
幼稚園への理解を深めていただく  
アットホームな誕生会を行っています。

## もっと身近に!姜(カン)先生の楽しい韓国語(初級)

### 【講師】

本学エクステンション・プログラム講師  
姜 求栄 (元 駐名古屋韓国総領事館館員)



この講座は過去に本エクステンションで「やさしい韓国語(入門)」を終えた方、または韓国語の基礎知識をお持ちの方を対象としています。



最近非常に人気が高いこの講座は、女性が8割以上を占めています。ハングル文字は合理的にできており、母音を覚えたら理解できる仕組みになっています。発音もそれほど難しくなく、一度始めたらやめられない魅力があるようです。先生がジョークを言われたり、歌ったりと楽しい講座内容なので、受講生の出席率も抜群です。



### 講座が楽しくて仕方ありません。

毎年2、3回韓国に行っていたのですが、言葉がわかるようになれば、もっと楽しいだろうと思い受講しました。

まだまだ勉強しなくてはなりませんが、看板など今まで読めなかったものが読めるようになったし、買い物やレストランなどでの会話ができるようになりました。

### 韓国旅行で言葉が通じるように。

ゼロからの出発だったんですが、今はやっと小学生レベルにはなったかなと思います。先生の講座はとても楽しく、ユーモアにあふれているので、毎週通うのが楽しみです。また、一步一步段階に応じて教えてくださるので、無理しなくてもいいのうれしいですね。



## 何年も続けて受講する方が多い 人気のエクステンションは 真剣さの中にも楽しい雰囲気がいっぱい

大学では、広く大学を開放することを目的に、地域の方々や卒業生を対象に、1994年度から「生涯学習プログラム」として、文学・教養・語学・健康・スポーツ・芸術・資格対策・音楽などさまざまな分野の講座を開講。

1999年度からは、名称を「金城学院大学エクステンション・プログラム」と改め、さらなる充実を図り、発展させてまいりました。

2004年度前期のエクステンション・プログラムの中から2講座を紹介いたします。

後期(2004年秋)も開催されますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

(年齢、性別、学歴を問わずどなたでもご参加いただけます)

お問い合わせ / エクステンション・プログラム担当  
TEL.052-798-0190(直通)  
E-mailアドレス ext@kinjo-u.ac.jp

## 写生から始める日本画

### 【講師】

本学人間科学部教授 船橋 稔行

日本画というと掛軸に描かれた「水墨画」や、色紙にあっさり描かれた作品をイメージする方が多いと思いますが、この講座では岩絵具を使った現代的な日本画の制作を、基礎の写生の仕方から学ぶことができます。今まで絵の経験のない方から、すでに日本画を描いている方までレベルに応じて学べるので、年齢層も中学生から70歳代までと非常に幅広くなっています。長く続けている方が多く、8割以上がリピーター。風景、花、人物などを画題に、皆さん自由に描かれていて、終始なごやかな雰囲気です。



### 岩絵具の色彩が大好きです。

私は今年で6年目ですが、この講座が始まった時から通っている1期生です。これまでいろいろな文化センターに通っていましたが、こちらの講座は、先生といい、環境といい、素晴らしいの一言!先生に教えていただける限り続けたいと思っています。

### 子どもの時から好きだった絵を癒しの色で表現しています。

先生の作品に惹かれて受講し始め、5年目になります。先生の謙虚で優しく、時には厳しいご指導は本当にありがたく、技術を丁寧に教えていただけて感謝しております。岩が出す色は奥が深く、まだまだ通うつもりです。

## 金城学院大学

## オープンキャンパス開催

高校生の皆さんに大学の雰囲気や情報を知っていただくために、模擬授業や受験対策講座など、内容やイベント等の趣向を毎回変えて3回開催いたします。10月は大学祭との同時開催です。

各回とも申し込みは不要です。詳しい内容は、ホームページなどで順次お知らせいたします。



日時 /

第1回「体験」編

7月31日(土) 10:00 ~ 16:00

第2回「入試対策」編

9月18日(土) 10:00 ~ 15:00

第3回「金城祭」編

10月23日(土) 10:00 ~ 15:00

お問い合わせ / 大学入試広報室

TEL0120-331791

<http://kinjo-gakuin.net> (PC用)<http://kinjo-u.ac.jp/m> (携帯用)

## 金城学院高等学校

## 「しらゆり祭」開催

国際交流の集いや演劇・ハンドベルの演奏をはじめ、総合的な学習の時間の発表、クラブ展示、バザー、模擬店など盛り沢山の催しを企画しています。

日時 /

9月23日(木・祝) 10:00 ~ 17:00

24日(金) 9:00 ~ 15:00

入場にはチケットが必要ですので事前にお問い合わせください。

お問い合わせ / 高等学校事務室

TEL052-931-6236

## 金城学院中学校

## 「恵愛祭」開催



総合的学習の中間発表や各部・同好会の日頃の活動の成果など、中学校の様子を知っていただく絶好の機会です。今年のテーマは『共に生きる～笑いが世界を救う～』です。金城生の笑顔が皆さまの心に響くようがんばっています。

日時 / 9月17日(金)・20日(月・祝)

17日(金): 校内生徒のみ

20日(月・祝): 10:00 ~ 15:00

入場にはチケットが必要ですので事前にお問い合わせください。

お問い合わせ / 中学校事務室

TEL052-931-0821

## 第4回 チャリティ・フリーマーケット開催

毎回好評のフリーマーケット。衣類や日用雑貨、手作りお菓子、アクセサリーなど約50ものブースが出店予定ですので、ぜひお揃いでご来場ください。収益金は地域の緑化に役立ていただくために、すべて寄付させていただきます。

日時 / 10月30日(土)

10:30 ~ 14:30

場所 / 中学校 中庭・玄関アプローチ

雨天の場合は本校体育館で開催

入場無料

お問い合わせ / 中学校事務室

TEL052-931-0821

## 金城学院幼稚園

## 父母の会バザー

日時 / 11月3日(水・祝)

10:00 ~ 14:00 (雨天決行。警報

発令時は4日に変更となります。)

どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ / 幼稚園事務室

TEL052-798-0053

## 中・高合同体育祭

今年度は創立115周年にあたり、中学校・高等学校が合同で体育祭を行います。そのため、生徒たちは例年以上に張り切っています。

また、短い時間ですが、可愛らしい幼稚園児たちも参加します。

日時 / 9月28日(火)

9:00 ~ 15:00 (予定)

場所 / 愛知県体育館

## 中・高合同PTA講演会

講師は歌手、エッセイスト、教育学博士のアグネス・チャン氏です。お誘い合わせの上、ぜひ来場ください。

日時 / 11月10日(水) 13:30 ~

場所 / 高等学校 栄光館

入場無料

お問い合わせ / 高等学校事務室

TEL052-931-6236

## 第53回メサイア演奏会

第53回を迎えるメサイア演奏会が、今年も盛大に行われます。生徒たちの練習を重ねた成果を、ぜひお聴き下さい。

日時 / 11月20日(土) 16:00 開演

場所 / 愛知厚生年金会館

入場券 / 自由席 1,500円

お問い合わせ / 高等学校事務室

TEL052-931-6236



## みどり野会(同窓会)よりお知らせ

金城祭と同時開催で以下の催しを行います。ぜひご参加ください。詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

召天者記念礼拝 10:00 ~ 10:45

ホームカミングデイ

講演会 11:00 ~ 12:30

模擬店

バザー(学院耐震工事へ寄付)

日時 / 10月23日(土)

10:00 ~ 15:00

場所 / 大学キャンパス

お問い合わせ / みどり野会事務局

TEL052-931-4480

## 金城ラクロス部 豊島千瑛さんが 日本代表候補に選ばれました

金城ラクロス部は、東海地区でもトップクラスの強豪チームです。このチームで活躍中の環境デザイン学科3年 豊島千瑛さんが、日本ラクロス協会より2004年度21歳以下女子日本代表候補選手に選抜されました。豊島さんは今後、国内合宿、海外遠征などに参加し、ワールドカップ日本代表をめざします。



## 新校舎建築工事にご協力ください

大学では、W1号館西側に2005年3月の竣工を目指して現在新校舎の建築を進めています。

工事期間中はご不便をおかけしますがよろしくご協力願います。



### 【概要】

地下2階、地上5階建て、総面積は、約16,900㎡です。地上部分は2棟に分かれており、北棟（仮称）は、地下1階にコンピュータ室、コンピュータ自習室等を、1階には、学生ラウンジ、大講義室等を、2階以上には講義室、演習室等が設置されます。もう1棟には2005年度開設を構想しています薬学部関係の施設が設置されます。

## 大学基準協会による 相互評価「適合」認定をいただきました

世の中の動きは規制緩和の方向に進んでいますが、大学設置基準という大学の根本を定めた法令も、10年程前に大幅に緩和されました。替わって登場したのが、自己評価と第三者評価です。画一的な基準に合わせるのではなく、大学自身があるいは第三者の機関が、それぞれの大学の目標に照らして、大学の現状を評価し改善を進めようというものです。

本学は、従来から自己評価を進めてまいりましたが、昨年、大学基準協会に「相互評価（第三者評価）」を申請し、この程厳しい審査の結果、同協会から「適合」との認定をいただきました。この認定は、この間の大学改革

の理念と姿勢（たとえば、「いのち」「こころ」「いやし」に示される新4学部体制の教育内容、固定時間割制度や他学部履修など「学生のために」を視点に進めた制度改革）が評価されたものと思います。

本学は、今回の「適合」認定に安んじることなく、これからも薬学部の設置やキャリア形成支援システムの本格的な構築など、新たな課題に挑戦し皆様の期待に応えてまいり所存です。一層のご支援をお願いいたします。

\*本学の改革と大学基準協会の認定について、詳しくは同封リーフレットや本学HPをご覧ください。



このマークは、財団法人大学基準協会による第三者評価を受けた結果、大学基準に適合していることを証するものです。

## 2004年度 聖句標語

自分自身を聖別せよ。主は明日、  
あなたたちの中におどろくべきことを行われる  
ヨシュア記 第3章 5節

モーセの後継者ヨシュアは、いよいよ神の約束の地カナン移住の大事業を開始する。

しかし、灼熱の広大な砂漠を通過し、激しく流れるヨルダン川を渡らなければならなかった。成功か否かは神の民イスラエルの一人一人の謙遜と献身の度合いにかかっていた。神の事業は神が完成へと導く。人間だけの力だけでは完成しない。神への謙遜と神への畏れと聖さが求められることを教える。

（大学宗教総主事 横手 征彦）

## 【編集後記】

大学では、来年3月完成予定で新校舎の建築が始まりました。学部構成も現在の4学部体制から5学部体制を目指しています。本号では、特に大学の「プロジェクトK」を特集としました。学生の方々の、日々の生活から就職までを、1年生から在学中を通して共に考えてゆこうというプランです。このプランが学生生活の一助となることができれば幸いです。学院報スタッフ一同、今後も皆さんの役に立つ情報の提供を目指して参ります。皆さんからのご意見、ご要望などお待ちしております。